




事業概要【地域と旅行者を繋ぐ観光案内所整備事業】

申請者	岡山県美作市	初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	46,720千円 (8,000千円)
経費の種類	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> インフラ整備事業 <input checked="" type="checkbox"/>	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・JR林野駅の駅舎を美作市の観光情報発信の拠点施設として整備し、多言語生成系AIを活用した観光コンシェルジュを導入することで、インバウンドを含めて、知りたい情報を高い精度で常時知ることができる環境を整える。 ・汽車の便数が少なく、長くなる待ち時間を快適に過ごせるよう、人に優しい空間づくりを進め、地域住民・観光客のふれあい・交流を通じて「美作ファン」を創出する。 ・上記の取組を通じてリーダー及びSNSによる誘客効果で観光客の増加を促すとともに、旅中の情報精度を高めて市内周遊を促進し、域内での観光消費額の増加に繋げる。 		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 JR姫新線の林野駅を市内観光の情報発信の拠点として整備するとともに、人に優しい空間づくりを進め、地域住民・観光客のふれあい・交流を創出する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆デジタルサイネージで放映する動画の制作 3,300千円 ◆交流にきっかけとなるコンテンツ造成と優しい空間づくり <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆駅舎及びトイレの模様替えに向けた工事設計 4,700千円 ◆デジタルサイネージの導入 ◆生成AIを活用した観光コンシェルジュの導入 ◆特産品のお茶の提供、土産物自動販売機の導入 ◆駅舎・トイレの高機能化 照明のLED化、フリーWi-Fiの導入、充電スポットの整備、天井・壁紙の改修、空調性能の充実、トイレの洋式化 	  	
地域の多様な主体の参画	JR林野駅に近く、主要な観光地の観光事業者で構成される湯郷温泉観光協会から情報発信ベースの整備にあつての民間路線の意見を徴取する。また、本駅を活用して登校する生徒の多い岡山県立林野高等学校の生徒に対して、駅の利活用や改修要望等のアンケートを取得し、その意見を拠点整備の取組に組み入れる。	KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ★①地域における観光消費額 (+6億円) ②観光入込客数 (+10千人) ③インバウンド宿泊者数 (+1,133人泊) ④JR林野駅の乗車人員 (+31人/日) ⑤AIチャットボット利用者数 (+2,609人) ⑥駅設置掲示板アプリ投稿件数 (1,305件)